

会話を採す

文章は次の二つに分類できる

- ① 地の文：作者が説明として書く部分。
- ② 会話文：登場人物の会話をそのまま書く部分。

〈会話を採すポイント〉

- ① 会話を表ける「と」「とて」などを採す。
(その直前までが会話であることが多い)



- ② 文脈を追いながら、会話の始まりを確定する。

人物を表す言葉 + (読点) + 会話文

会話の終わりを表す「と」には、直後に「言ふ」「語る」「嘆く」などの動詞が続く場合が多いので、手がかりになる。
「言ふ」「言ひけるは」「いはく」

(例) 御衣を取りいでて着せむとす。そのときに、

かぐや姫 しばし待て と いふ。
人物を表す言葉 読点 会話文 会話の終わり